

バッテリーチャージャー

取扱説明書

BC-DWX1

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。

お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

DWX
DIGITAL WIRELESS

目次

特長	3
使用上のご注意	3
電源供給に関するご注意	3
本機の性能を維持するために	3
電池について	4
各部の名称と働き	4
電源および各機器との接続	6
PoE 機器から電源を供給する	6
AC アダプターから電源を供給する	6
充電する	7
ストレージ機能を使う	8
ネットワークに接続する	8
本機を連結する	9
故障かなと思ったら	10
保証書とアフターサービス	11
保証書	11
アフターサービス	11
ライセンスについて	11
仕様	12

特長

BC-DWX1 は、DWT-B03R/NP-BX1 を 2 台同時に充電できるバッテリーチャージャーです。

- デジタルワイヤレストランシッター DWT-B03R にバッテリーパック NP-BX1 を取り付けたまま充電できるほか、NP-BX1 単体でも充電可能
- 別売の AC アダプター、および LAN ケーブルから受電する PoE (Power over Ethernet) の 2 通りの電源に対応
- 本機をネットワークに接続することで、PC ソフトウェア Wireless Studio* からの充電状態の監視、および設定の変更が可能

* バージョン 5.0 以降の Wireless Studio が必要です。

使用上のご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

電解コンデンサの寿命は約 5 年です。

(常温で 1 日に 8 時間、1 カ月で 25 日間、通常に使用すると想定した場合)

したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーパックや AC アダプターとの接点部分）は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

電源供給に関するご注意

- LAN ケーブル経由で BC-DWX1 に電源供給 (Power over Ethernet) する場合は、必ず IEEE802.3af 準拠の電源供給機器 (PoE ハブや PoE 給電器) を使用してください。
- ◆ PoE ハブや PoE 給電器の使用方法について詳しくは、それぞれの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- AC アダプターと PoE 電源供給機器で同時に電源を供給した場合は、AC アダプターからの電源供給が優先されます。

本機の性能を維持するために

- 充電の際には、充電機器挿入部にゴミなどの異物が入っていないことを確認したうえで送信機を本機の挿入部に差し込んでください。ゴミなどの異物が入っていると、正しく充電されない場合があります。
- 充電した電池は使用していなくても少しづつ放電します。安全な運用のためにも、使用する前に充電してください。
- 本機および電池の端子が汚れていると正しく充電できないことがあります。端子をかわいた布または綿棒などで拭いてください。その際、必ず本機の電源を切り、充電端子に直接手を触れないようにご注意ください。
- ほこりや腐食性ガスのある場所、および直射日光のある場所での使用、保管は避けてください。

電池について

周辺温度が10°C～30°Cの環境で充電してください。その他の環境では効率よく充電できないことがあります。

電池の上手な使いかた

- 周辺温度が低いと電池の性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。周辺温度が低い環境でより長い時間使用したい場合は、電池をポケットなどに入れて温かくしておき、運用の直前に本機に取り付けてください。
- 電池は防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- 電池の端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

電池の保管方法について

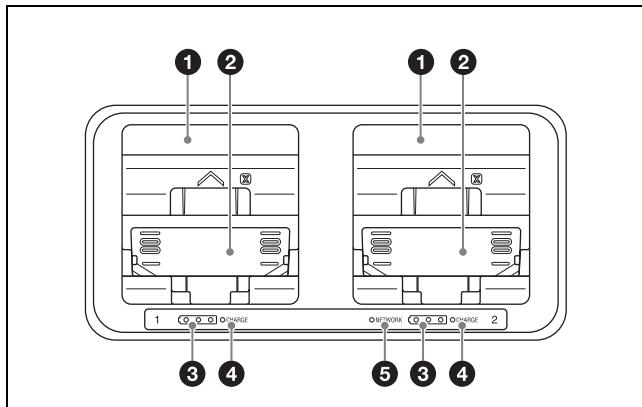
- 長期間使用しない場合でも、電池の機能を維持するため年に1回程度は充電してください。その後、本機に差し込んでストレージ機能を使用して充放電を行い、本機から取り出して湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 接点汚れやショートなどを防止するため、本機から取り外した電池の携帯時や保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

電池の寿命について

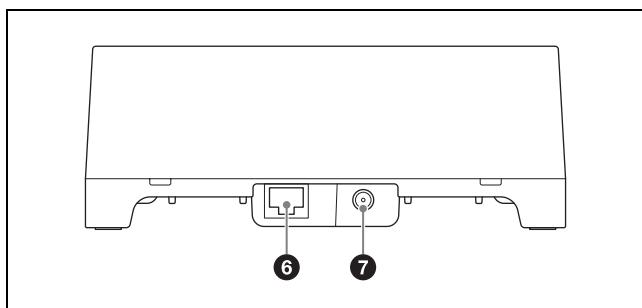
- 電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 電池の寿命は、保管方法、使用状況や環境によって変わります。

各部の名称と働き

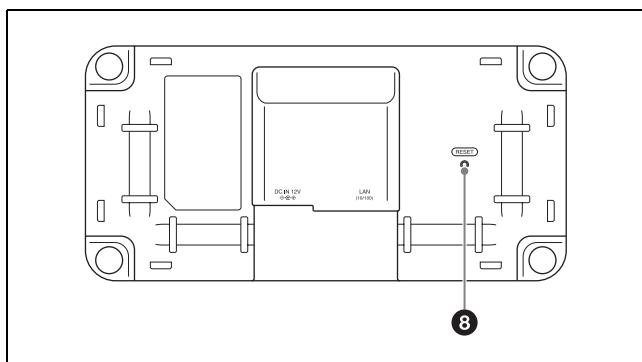
上面



横面



底面



① ケーブルポケット

DWT-B03R に接続しているラベリアマイクロホンのケーブルを収納できます。

② 充電機器挿入部

充電する DWT-B03R または NP-BX1 を差し込みます。安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーを使用しないでください。

- NP-BX1

③ 充放電状況ランプ

充放電状況に応じて点灯します。

④ CHARGE ランプ

充電中に点灯します。

⑤ NETWORK ランプ

ネットワーク通信中に点灯します。

ネットワーク機能が OFF のときは、ネットワークに接続しても NETWORK ランプは点灯しません。

⑥ LAN 端子 (RJ-45)

10Base-T/100Base-TX 方式のネットワーク接続用端子です。通信速度は接続先の機器に合わせて自動的に切り換わります。

Windows パソコン、ハブなどと接続します。

PoE 給電が可能なハブや給電器と接続した場合には、この端子を通して電源供給を受けます。

注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターを以下のポートに接続しないでください。

接続については、本書の指示に従ってください。

- LAN コネクター

注意

LAN ケーブルをご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、シールドタイプのケーブルを使用してください。

⑦ DC IN 12V (DC 電源入力) 端子

別売の AC アダプターを接続します。

ご注意

火災や故障の原因になりますので、推奨の AC アダプター (別売) 以外は使用しないでください。

⑧ RESET ボタン

設定を工場出荷時の状態に戻す、充電モードの切り換え、ネットワーク機能の切り換え、の 3 つの機能があります。ペンやクリップなどでこのボタンを操作してください。

RESET ボタンの操作は、DWT-B03R および NP-BX1 を取り外した状態で行ってください。

設定を工場出荷時の状態に戻すには

ボタンを 10 秒押し続けます。本機上面のランプがすべて点滅し、各設定項目が工場出荷時の状態に戻ります。

充電モードを切り換えるには

CHARGE ランプが消灯しているときは、このボタンを押すとランプが 3 秒間点灯し、現在のモードを確認できます。この間に再度 RESET ボタンを押せば、通常モードとストレージモードを切り換えられます。

CHARGE ランプの点灯中にこのボタンを押すと、充電モードを切り換えられます。

- ◆ 詳しくは、「ストレージ機能を使う」(8 ページ) をご覧ください。

ネットワーク機能の ON/OFF を切り換えるには

ボタンを押しながら電源を接続するとネットワーク機能の ON/OFF を切り換えられます。

電源および各機器との接続

ご注意

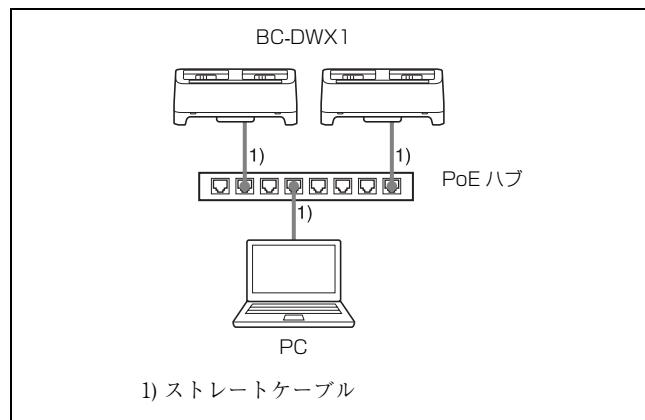
- 必ずカテゴリー5以上のLANケーブルをご使用ください。
- 接続先の機器（PoEハブやレシーバーなど）と本機とを接続するLANケーブルは、100mを超えないようにしてください。
- リピーター機能を持たないPoE給電器を中間に挟んでご使用になる場合は、接続先の機器（PCやハブなど）から本機までのLANケーブルの長さの合計が100mを超えないようにしてください。
- 自作したLANケーブルを使用すると、ネットワークが正常につながらない原因となります。市販のLANケーブルをご使用ください。

本機への電源供給の方法によって、接続のしかたと使用するLANケーブルの種類は以下のように異なります。

PoE機器から電源を供給する

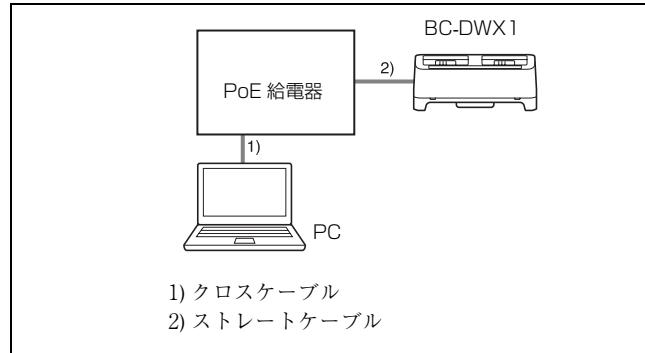
以下に、PoE機器から本機へ電源を供給する場合の接続例を示します。

PoEハブから電源を供給する場合

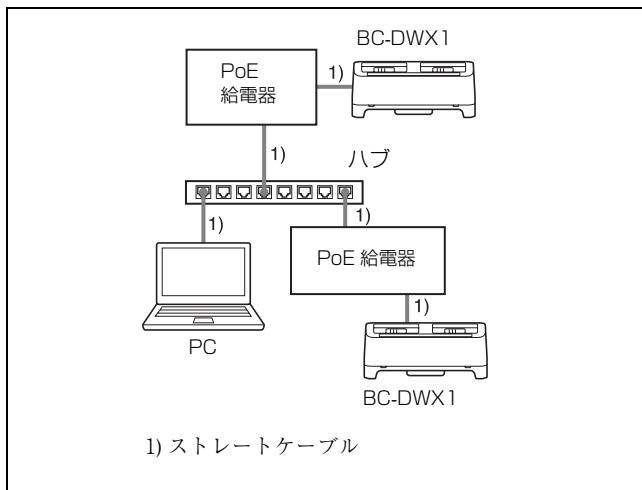


PoE給電器から電源を供給する場合

- PoE給電器で電源を供給し、PCのみを接続する場合

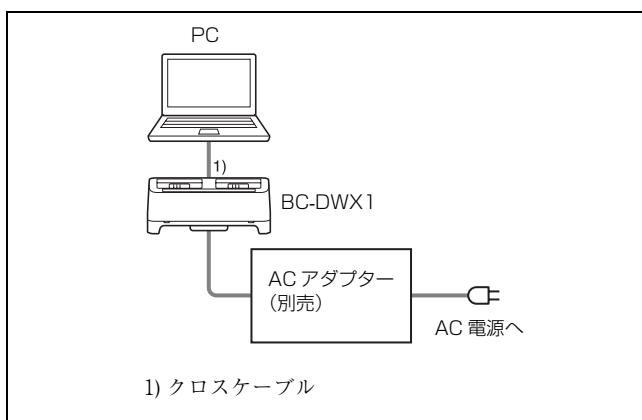


- PoE給電器で電源を供給し、本機やPCなど複数の機器を接続する場合

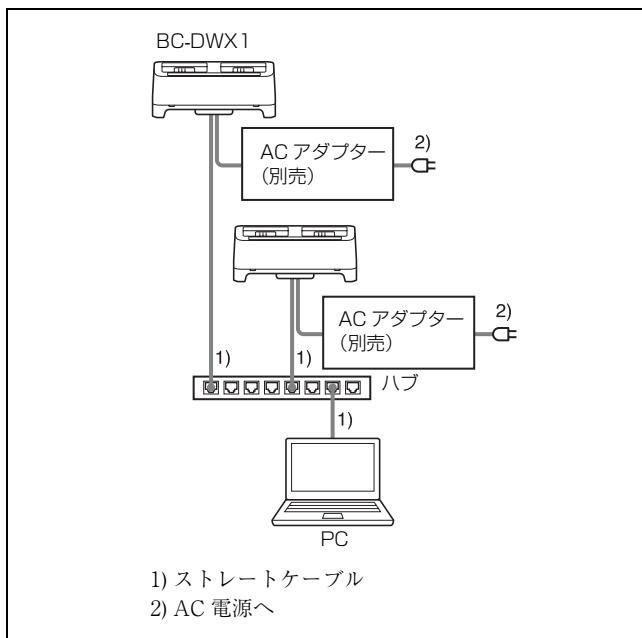


ACアダプターから電源を供給する

- ACアダプター（別売）で電源を供給し、本機にはPCのみを接続する場合



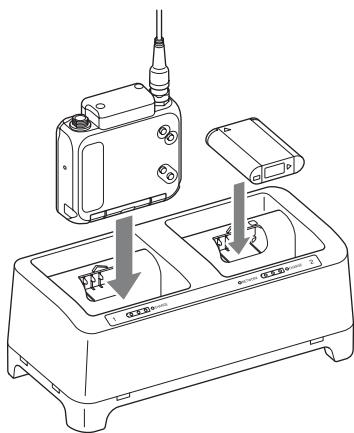
- ACアダプター（別売）で電源を供給し、本機には複数の機器を接続する場合



充電する

充電機器挿入部に異物がないことを確認し、DWT-B03R または NP-BX1 を差し込んでください。DWT-B03R または NP-BX1 を差し込んだ充電機器挿入部の CHARGE ランプが点灯し、充電が始まります。

どちらの充電機器挿入部に差し込んでも充電できます。



ご注意

CHARGE ランプが点灯しないときはしっかり差し込まれているか確認してください。差し込みが不十分だと、充電されないことがあります。

DWT-B03R に取り付けたまま充電するには

DWT-B03R に NP-BX1 を装着した状態でも充電できます。DWT-B03R の向きを確認し、充電機器挿入部に奥までしっかり差し込んでください。

◆ NP-BX1 の装着のしかたについて詳しくは、DWT-B03R の取扱説明書をご覧ください。

NP-BX1 単体で充電するには

NP-BX1 の△マークを上にして、本機の△マークと方向が合うように差し込んでください。

ご注意

DWT-B03R の電源が ON の状態で本機に差し込むと、DWT-B03R の電源は OFF になりますが、充電は行われています。本機から DWT-B03R を抜き取った後も、DWT-B03R の電源は OFF のままでです。

充電状態を確認するには

充放電状況ランプと CHARGE ランプの状態で、バッテリーパックの充電状態を確認できます。

○：消灯 ●：点灯

	充放電状況ランプ	CHARGE ランプ
装着直後 -30%	○○○	●
30% - 60%	○○●	●
60% - 90%	○●●	●
90% - 満充電	●●●	○
満充電完了	○○○	○

ご注意

充電量表示や上記の数値は目安です。周囲の温度やバッテリーの状態によっては上記の数値と異なる場合があります。

充電した機器を取り外すには

本機は、DWT-B03R および NP-BX1 が振動などにより落下することを防止する構造になっています。

- DWT-B03R
本機を押さえて、DWT-B03R を上に引き抜いてください。
- NP-BX1
NP-BX1 を本機の△マークの方向へ軽く押し、NP-BX1 の端を引き上げてください。

充電時間について

使い切ったバッテリーパックを温度 25 ℃ の環境下で充電した場合、約 3 時間で満充電状態になります。

使用状況や環境によって満充電までの時間は長くなります。また、長期間使用していないバッテリーを充電する場合は、充電時間が長くなることがあります。

急いで使いたいときは

充電が完了する前でも必要なときに取り外して使えます。ただし、充電時間により、使用できる時間は異なります。

ストレージ機能を使う

電池は満充電状態を維持し続けると劣化し、寿命が短くなります。

本機には、電池の劣化を避けるために充電を80%までに抑制するストレージ機能があります。バッテリーを長期間使用しないときは、ストレージ機能を使うと劣化を抑えることができます。

ストレージモードに切り換えるには

CHARGEランプの点灯中にRESETボタンを押すと、通常モードとストレージモードを切り換えられます。

CHARGEランプが消灯しているときはRESETボタンを押すと、ランプが3秒間点灯し、現在のモードを確認できます。この間に再度RESETボタンを押せば、通常モードとストレージモードを切り換えられます。

通常モード時：オレンジで点灯

ストレージモード時：赤で点灯

また、切り換え操作はPCコントロールソフトWireless Studioからも行えます。

放電を行うには

80%～100%充電されたバッテリーパックを装着すると、充放電状況ランプ（左側のみ）が点滅し、放電が始まります。

バッテリーパックの80%が充電されている状態になると、放電を終了します。

ストレージモード時に充放電状態を確認するには

通常モードと同様に、充放電状況ランプとCHARGEランプの状態で、バッテリーパックの充放電状態を確認できます。

ただし、通常モードとはランプの点灯のしかたが異なります。

○：消灯 ●：点灯 ☀：点滅

	充放電状況ランプ	CHARGEランプ
装着直後 - 30%	○○○	●
30% - 60%	○○●	●
60% - 80%	○●●	●
80%	○●●	○
80% -100%（放電状態）	☀●●	○

放電時間について

満充電したバッテリーパックを温度25℃の環境下で放電した場合、約1時間で80%まで放電されます。

使用状況や環境によって放電時間は異なります。

ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続し、Wireless StudioやBC-DWXセッティングツールを使用することにより、ネットワーク経由で本機の操作やモニタリングを行えます。

最新のWireless StudioおよびBC-DWXセッティングツールのインストーラーや取扱説明書は、以下のURLよりダウンロードしてください。

<http://www.sony.jp/pro-audio/>

Wireless Studio

PCコントロールソフトWireless Studioにより、PCから本機*、ポータブルベースユニット、RMU-01、ソニーデジタルワイヤレスレシーバーおよびトランスマッターの状態をモニターしたり、本機およびレシーバー、トランスマッターの設定を遠隔コントロールすることができます。

*バージョン5.0以降のWireless Studioが必要です。

◆詳しくは、Wireless Studioのユーザーガイドをご覧ください。

BC-DWXセッティングツール

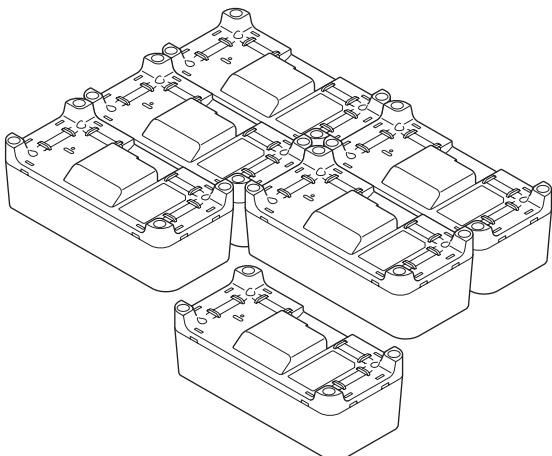
ネットワークを介して本機に接続するためには、BC-DWXセッティングツールを使用して本機にIPアドレスを割り当てる必要があります。

◆詳しくは、BC-DWXセッティングツールのユーザーガイドをご覧ください。

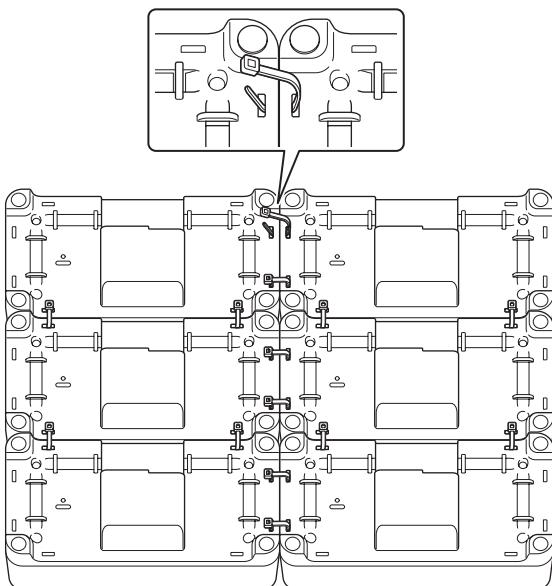
本機を連結する

市販の結束バンドを使って、本機を複数台連結することができます。
また、本機に接続したケーブルをまとめて、配線を整理できます。

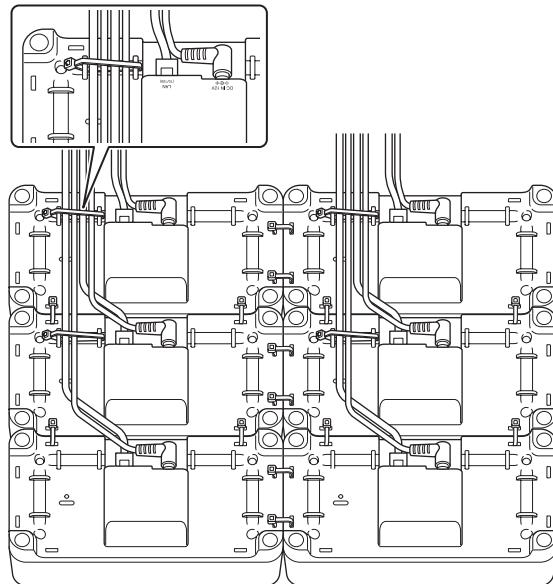
- 1 本機で充電中の機器や接続しているケーブルをすべて取り外す。
- 2 本機の底面を上にして連結したい形に組み合わせる。



- 3 結束バンドを本機底面の挿入口に差し込み、固定する。



- 4 ケーブルを接続し、結束バンドを本機底面の取っ手に差し込んで、ケーブルをまとめながら固定する。



本機底面の挿入口のうち連結に使用していないものは、市販の19インチラックのトレイや引き出しへの固定にも利用できます。

故障かなと思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

CHARGE ランプが点滅している

CHARGE ランプの点滅パターンは2つあります。
約1.5秒で点灯と消灯を繰り返す場合（遅い点滅）と、約0.15秒で点灯と消灯を繰り返す（速い点滅）です。
点滅パターンによって対処の方法が異なります。

CHARGE ランプが遅い点滅を繰り返すときは

自動的に充電が一時停止し、待機状態になっています。
充電に適した温度環境ではない場合に起こります。
充電に適した温度の範囲内になると、CHARGE ランプが点灯し充電が再開されます。
周辺温度が10°C～30°Cの環境で充電を行うことをおすすめします。

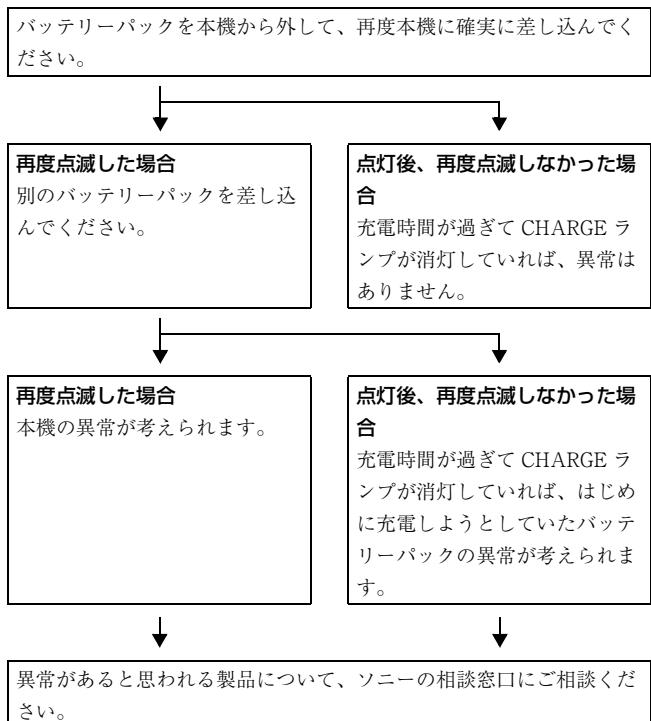
CHARGE ランプが速い点滅を繰り返すときは

以下の状態の後で最初に充電するときに起こる場合があります。

- バッテリーパックを長期間放置した場合
- バッテリーパックを DWT-B03R に取り付けたまま長期間放置した場合
- お買い上げ直後

一旦バッテリーパックを本機から外して、再度充電を行ってください。

それでも速い点滅になる場合は、以下の手順に従って確認してください。



バッテリーが充電されない

- 本機に電源が供給されていない。
→ケーブルがしっかりと差さっていることを確認してください。
- バッテリーが斜め、または裏表逆に差し込まれている。
→バッテリーを正しく取り付けてください。
- バッテリーが満充電。
→異常ではありません。
- ストレージモードになっている。
→通常モードに切り換えてください。

ネットワーク上の BC-DWX1 を自動検出できない

- 複数の LAN ポート（有線・無線にかかわらず）を装備している PC では、OS の「ネットワーク接続」でポートの設定を変更しないと自動検出できないことがある。
→OS の「ネットワーク接続」で PC のすべてのポートを無効にしてから、BC-DWX1 を接続しているポートのみを有効にしてください。その後、BC-DWX セッティングツールを再起動して自動検出を行ってください。
- ネットワーク機能が OFF に設定されている。
→本機底面の RESET ボタンを押しながら電源接続を行ってネットワーク機能を ON に切り換えてください。ネットワーク機能 OFF 時は、ネットワーク接続を行っても本機上面の NETWORK ランプが点灯しません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お近くのソニーの営業所にお問い合わせください。

ライセンスについて

本製品は、T-Engine フォーラム (<http://www.t-engine.org>) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。

仕様

電源電圧	AC アダプター使用時：DC 12 V（別売の 推奨 AC アダプターをご使用ください）
消費電流	AC アダプター使用時：1.2 A 以下
定格出力	充電時：DC 4.2 V、0.86 A（1 スロット 当たり）
LAN 端子	RJ45 モジュラージャック（1） 100BASE-TX：IEEE802.3u 準拠 10BASE-T：IEEE802.3 準拠
PoE 受電	IEEE802.3af Class3 準拠（モード A、B の両方に対応）
許容動作温度	0 ℃ ~ 40 ℃
許容保存温度	-20 ℃ ~ +60 ℃
最大外形寸法	186 × 71 × 91 mm（幅 / 高さ / 奥行）
質量	約 290 g
付属品	保証書（1） ご使用になる前に（1） CD-ROM（1）

別売アクセサリー

AC アダプター（AC-UES1230 シリーズ）
推奨の AC アダプターについては、ソニーの相談窓口にお
問い合わせください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあ
りますが、ご了承ください。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかるらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者から
のいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1